

さいたま市長 7月定例記者会見

平成29年7月6日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社のテレビ埼玉さん、進行をよろしく願い
いたします。

○テレビ埼玉 7月の幹事社を務めますテレビ埼玉です。よろしくお願いいたします。
それでは、本日の記者会見内容につきまして市長から説明をお願いいた
します。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
まず初めに、台風3号により大雨特別警報が出されました島根県、福岡
県、大分県を初め記録的な豪雨により甚大な被害となっている地域の方々
に謹んでお見舞いを申し上げたいと思います。現在救助活動が行われてい
ると伺っておりますが、被災された皆様が無事に救助されることをお祈り
を申し上げたいと思います。

さて、11月11日、12日に「第3回さいたま国際マラソン」を開催
いたします。11日土曜日には、駒場ファンランとして4つの部門が行わ
れます。中でも「2時間チームランの部」は、学校や職場の仲間などでご
参加いただき、チームワークやコミュニケーションを育む絶好の機会にし
ていただければと思います。その他の部門におきましても余裕がございま
すので、皆さんの参加をお待ちしております。一人でも多くの方々にご参
加をいただきまして、さいたま市の秋のイベントをぜひ楽しんでいただき
たいと思います。

それでは、本日の議題に移らせていただきます。

**市長発表：議題1 『「スポーツのまち さいたま」の
実現に向け、さいたま市記念総合体育館にネーミング
ライツ（施設命名権）を導入します』**

まず初めに、議題1でございますが、「さいたま市記念総合体育館ネーミ
ングライツを導入します」についてご説明をさせていただきます。

本市では、「さいたま市行財政改革推進プラン2013」に基づき、積極

的に自主財源を確保する取り組みといたしまして、さいたま市記念総合体育館へネーミングライツの推進を行ってまいりました。

複数の企業へのヒアリングなどによりまして、ネーミングライツの条件を具体化した上で、パートナーとなる企業を公募した結果、このたび手続を経まして、ネーミングライツパートナーが決定し、基本合意に至ることとなりました。

ネーミングライツにつきましては、財源確保策として知られておりますが、改めて本市の現状も含めて制度を説明させていただきたいと思っております。

ネーミングライツとは、施設命名権という名のとおり、施設等に企業名や商品名を含む名称をつける権利でございます。これを企業等に売却することによりまして、市の自主財源の確保を図ることとしております。本市では、これまで大宮公園サッカー場、駒場運動公園競技場及び駒場運動公園補助競技場に導入実績がございます。それぞれご覧のと通りの相手方株式会社エフエムナックファイブ、株式会社三菱自動車フットボールクラブ（現浦和レッドダイヤモンズ株式会社）と契約を締結、また名称も市民に浸透し、施設への愛着も向上しております。現在これらに加えまして、歩道橋へのネーミングライツも順次進めているところでございます。

記念総合体育館へのネーミングライツの導入は、「行財政改革推進プラン2013」に位置づけられたものでございます。具体的な目的としましては、売却することで得られた収入による市民サービスの向上、本市が掲げる「スポーツのまち さいたま」の実現に向け、ネーミングライツパートナーと連携を図ることを掲げております。

次に、記念総合体育館の概要でございますけれども、本施設は平成15年3月に開館をいたしまして、メインアリーナとサブアリーナ、そして温水プールもあわせ持つ本市の中核的な体育館でございます。利用者は年間で約49万人と、市内の体育館で一番多い利用者数となっております。女子バレーや埼玉ブロンコスホームゲーム、バドミントンの日本ランキングサーキットなどの大規模な大会が開催されております。このような本市の代表的な体育館にネーミングライツを導入し、パートナーと連携することで、より一層のスポーツの振興が図れるものと考えております。

次に、ネーミングライツパートナーの募集の経過についてご説明をさせ

ていただきます。平成29年4月18日から5月22日にかけて、ホームページを通じて公募を行いました。ネーミングライツパートナーの特典は、「記念総合体育館の優先利用権」でございますが、応募に当たっては、「スポーツ振興・地域貢献に係る提案」をすることを条件としておりました。その後、応募のあった企業についてスポーツ文化局の審査委員会を開催いたしまして、金額、期間、それから提案内容等の観点から審査を行いまして、6月26日にネーミングライツパートナーを決定し、交渉を進めてまいりました。そして、本日が決定したネーミングライツパートナーの初披露となります。

ネーミングライツのパートナーは、本市に生産拠点を持っておりますサイデン化学株式会社に決定いたしました。主にこのサイデン化学株式会社は粘着剤や接着剤を開発製造している企業でございますが、また独創性、革新性にすぐれた技術を有する市内の研究開発型のものづくり企業として本市が企業情報発信などを行うリーディングエッジ企業にも認証されております。

当該企業は、本市をホームタウンとする「浦和レッズレディース」や女子フットサルチーム「さいたまSAICOLO（サイコロ）」のオフィシャルパートナーでもあり、企業からの提案におきましては、特典であります「記念総合体育館の優先利用権」を「さいたまSAICOLO（サイコロ）」のホームゲームとして活用することが挙げられており、スポーツ振興、また地域の貢献が図られるものと期待をしております。また、生産拠点の工場が記念総合体育館に隣接をしているという立地でございますが、名前の浸透もスムーズにいくものと考えております。

サイデン化学株式会社と交渉を進めてきた結果、基本合意に盛り込む主な内容について説明をいたします。

まず、ネーミングライツによります名称といたしましては、「サイデン化学アリーナ」という名前になります。この導入期間につきましては、平成29年10月1日から平成35年3月31日までの5年6カ月、ネーミングライツ料は年間400万円となる予定でございます。これらの基本事項をもとに、看板等の名称表示方法など細部について今後協議を進めてまいります。

最後に、基本合意書の調印式のご案内でございます。調印式は、7月14日金曜日午前10時40分からさいたま市役所本庁舎4階の政策会議室におきまして執り行う予定でございます。記者の皆様におかれましてはフォトセッションなど取材にお越しいただきますようお願い申し上げます。ネーミングライツによる名称の使用については、10月1日から開始する予定でございます。

議題の1については以上でございます。

市長発表：議題2「ドローンによる空撮を開始～産業廃棄物の不適正現場を早期発見～」

続きまして、議題2「ドローンによる空撮を開始～産業廃棄物の不適正現場を早期発見～」についてご説明をさせていただきます。

今年度から産業廃棄物の不適正行為への対応のために、ドローンを利用し、通常では把握をにくい不適正な事業所などの空中監視を行ってまいります。現在は職員による所定の飛行訓練を行っておりますが、8月から本格的に稼働していく予定でございます。

まず、さいたま市の産業廃棄物の現状についてお話をしたいと思います。産業廃棄物の発生量につきましては、年ごとにばらつきがございます。景気がよいと増加し、景気が下降すると減少するという傾向がございます。昨年度の発生量は約108万トンでございます。これは、小学校の25メートルプールでいいますと3,000杯分の量になります。市内に事業所を設けて、産業廃棄物を扱っている許可業者数ですが、中間処理事業者が45、収集運搬業者が37で、合わせて82あります。この事業者に対しまして、さいたま市は年に2回以上職員による立入検査を実施しております。産業廃棄物処理に係る懸案件数は約70件でございます。このほとんどが産業廃棄物を大量に保管している「不適正保管」となっております。

本市が産業廃棄物の不適正行為の防止のため実施している主な事業をご紹介します。まず、1つ目が「不法投棄110番」の設置でございます。これは、平成26年度から運用を開始いたしております。毎年市民の皆様から100件程度の情報が寄せられております。

2つ目が「夜間監視パトロール」の実施でございます。これは、市内を東西に分けて2つの業者に委託をして、365日毎日夜22時から翌朝の

5時まで、市内の不法投棄が起りやすい地域を中心に（写真にあるような）車でパトロールを行っております。

最後に、「不法投棄の監視カメラ」の設置でございます。これは、夜間パトロールや市民通報などにより、不法投棄が多発している現場付近に計30台の監視カメラを設置しまして、常に監視の目を光らせております。これ以外にも、日々の職員によるパトロールや、近隣自治体との連携によります不適正処理防止のための事業を行っております。

多くの場合で「不適正保管」は高いフェンスに覆われておりまして、なかなか平面から見た状況では中の様子が確認できません。一度産業廃棄物が積み上がってきますと、その是正には時間がかかるだけでなく、周辺に産業廃棄物が飛散して市民生活に支障が生じるおそれも高まることとなります。そこで、ドローンを今年度から導入いたしまして、産業廃棄物の不適正行為の監視に活用してまいります。現在は、航空法の許可を取得するために職員が所定の飛行訓練を市の施設内で実施しております。この写真は、訓練時に撮影した最終処分場の「うらわフェニックス」の写真です。

それでは、せっかくですので、今ドローンを持ってきていますので、ご覧ください。ここ（本体中央の下の部分）にカメラがついていまして、飛び上がって監視をし、上空から様子がうかがえるようになっております。

現在、このドローンを活用するに当たりましては、航空法の許可を取得するために職員が所定の飛行訓練を市の施設内で実施いたしまして、その訓練後に活用することになっております。そして、航空法の許可を取得した後に8月頃から懸案事業所の調査を本格的に実施をしていく予定でございます。

なお、埼玉県では平成28年度からこのドローンを導入して産業廃棄物の不適正行為の監視に活用しております。撮影した動画や写真は、高解像度で撮影できますので、実際の現場でも調査に役立つ情報が得られるものと期待しております。

また、ドローンの導入によりまして、高い塀の中の様子が確認できるようになります。これによりまして、「不適正保管」を早期に発見することができ、当該事業者への早急な指導が可能となります。産業廃棄物の山は、大規模になればなるほど是正が困難となるため、早急な業者指導によりま

して、「不適正保管」となることを防止することができることとなります。

今後の予定でございますが、ドローンの実演飛行を予定しております。平成29年7月12日9時半から大宮の南部浄化センターにおいて実施をする予定でございます。当日取材を希望される場合には、2日前までに担当にご連絡をいただければと思います。

さいたま市では、今後も引き続き廃棄物の不適正行為の解決に努めていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

議題1に関する質問

○ テレビ埼玉

ありがとうございます。

それでは、市長からの説明について、皆さん質問をお願いいたします。

○ 埼玉新聞

埼玉新聞と申します。

先ほどの体育館のネーミングライツの件なのですけれども、ホームページでまず広報されて決定したということなんですけれども、公募には何社ぐらい応募があったのでしょうか。それともう一点、今後こういったネーミングライツの制度をほかの市有施設に広げていくお考えはございますでしょうか。この2点を伺います。

○ 市長

応募されてきたのは、結局1社のみということでございます。周知方法は、ホームページ等でお知らせをしたということでございます。今後につきましては、今差し当たって他の体育館等については、まだ現時点では導入予定はございません。引き続き歩道橋など導入できるところについてはまた導入を進めていきたいと考えております。

○ 時事通信

時事通信です。

ネーミングライツなのですけれども、ちょっと事務的になりますけれども、数字で今パワーポイント資料の2つ目にある導入実績というのはこれで全てという理解でよろしいのでしょうか。それで、数でいうと歩道橋も含めて正確には何か所かという話と、あとネーミングライツによる収入見込みを昨年度と今年度で幾らなのかということをお教えしてほしいんですけど。

あと、大規模大会の実績で、昨年度なり今年度にやられたものがどれかというのを教えてほしいんですけど。

○ 事務局

まず、ネーミングライツの実績なのですけれども、ここに書いてあるも

のが全てでございまして、「大宮公園サッカー場」、「駒場運動公園競技場」、「駒場運動公園補助競技場」と歩道橋の15カ所、現在18カ所で、今回が19カ所目になります。

それから、金額ですけれども、「NACK5スタジアム大宮」が、現在の契約で平成28年3月1日から平成33年2月28日までの5年間で総額9,000万円、年額1,800万円となっております。

それから、「浦和駒場スタジアム」、それと「レッズハートフルフィールド駒場」、両方合わせまして、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間で総額1,500万円、年額で500万円でございます。

歩道橋については、それぞれ契約によって違います。

大会実績については直近のものでございます。

○ 時事通信 昨年度ですか、今年度ですか。昨年度だとすれば、今年度の(予定は)。

○ 事務局 今年度は、バドミントンの日本ランキングサーキットと、埼玉ブロンコスホームゲームを予定しております。女子バレーは、上尾メディックスがプレミアリーグに復帰が決まったため、今年度はプレミアリーグも予定しております。

○ 時事通信 昨年度はあったのですか、プレミアリーグは。

○ 事務局 昨年度はないです。

○ 時事通信 浦和駒場スタジアムも、これも浦和レッズなのですかね。

○ 事務局 浦和駒場スタジアムも浦和レッズです。

議題2に関する質問

○ 朝日新聞 朝日新聞と申します。

ドローンに関して伺いたいんですが、市が今導入していらっしゃるドローンは、このほかにも既におありでしょうか。活用の状況などわかりましたら教えていただければと思います。

○ 市長 現状は、これ以外ですと消防局が導入しています。これは、平成28年10月1日から運用開始をしております、総務省の消防庁から広域応援時の先遣隊の資機材として、無償で貸与いただいて活用しております。

運用実績としては、現在まで4件の実績がございます。市内災害では水難救助での上空からの搜索活動で2件、それから県内の応援では、今年の

2月に三芳町のアスクルの倉庫火災で、上空からの延焼状況等を俯瞰的に確認する活動を行いました。

また、3月末に栃木県那須町のスキー場で発生した雪崩事故に、広域応援の緊急消防援助隊として不明者捜索活動を行ったときにも、広範囲の被害状況、部隊の活用状況を俯瞰的かつ効率的に確認させていただきまして、現場指揮活動に役立ち、今後も消防活動において有効に活用してまいります。

○ 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。

ドローンについてなのですからけれども、これはドローンが出動する手順というのか、これは常に上から日々撮影しているのか、それとも何か要請があって、これこれこういう段階になったら初めて上空に飛ばすのかとか、そういう基準みたいなのはあるのでしょうか。

○ 事務局 常時監視をするということではなく、例えば野焼きの通報があったときとか、職員による市内の監視パトロールをしていて、事業所に不審な様子や動きがあった場合、翌日なりドローンを活用して上空から見ます。岩槻区方面に高い3メートル以上の塀で囲まれている施設がたくさんありまして、中で何をやっているかというのは外から見えないため、道路上から飛ばし、100メートル以上は飛びますので、そこから中の様子を監視したいと考えております。

○ 埼玉新聞 その必要があったときということですね。上から見なければいけないとなった場合にと。

○ 事務局 そうです。

○ 埼玉新聞 ありがとうございます。

○ 時事通信 産廃ですけれども、懸案件数という用語は余り聞いたことがなくて、これはどういう意味なのかというのと、あと不適正保管の具体的な中身、事例も含めて教えてもらえませんか。

○ 事務局 懸案事項といいますのは産業廃棄物指導課が、政令市になってからできた課ですので、それまでは県の業務で行っておりました。さいたま市内にごみ山とされているものが20カ所あり、県から引き継ぎを受けております。

過去に平成22年度から3年ぐらいかけて5カ所の山は片づけています。

残り15カ所については、今、調査をしながら地主さんと交渉したり、もしくは行為者を探すということをしています。

「不適正保管」というのは、解体現場の下ごみです。ガレキの混じったごみみたいなものを、自分の事業地に1週間分であれば保管は可能なのですが、それ以上になると保管基準に違反してしまいますので、解体業者の事業地70カ所全てではないのですが、そのようなところに立ち入りしながら、保管基準を超えているような場合には、早く搬出してもらうよう指導しております。

幹事社質問：

①国の施策・予算に対する要望活動について

②ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムについて

○ テレビ埼玉 それでは、幹事社として代表質問させていただきます。質問はまとめて行いますので、よろしくお願いします。

まず1点目、先月27日、清水市長による国の施策、予算に対する要望活動が行われました。さいたま市としては、その中でも特に地下鉄7号線の延伸ですとか、あとは新幹線の大宮駅始発、それに新大宮上尾道路の整備促進などを重点的に取り組んでいるかと思うんですが、要望活動を経ての手応えや感触、そしてこれらの施策に対する今後の展望をお聞かせください。

もう一点は、同じく先月27日、さいたまクリテリウムの第2回実行委員会が開かれまして、ことしのコースが正式に決定しました。今回は、緊急車両の動線確保の必要性が生じたことですか、あとはスーパーアリーナで別なイベントが開催されることから、コースが大幅に変更されましたが、これにより新たなレース展開なども生まれるかと思います。今回のコース刷新により、さいたま市ではどういった展開や盛り上がりを期待するのか、またそこに対してどのような取り組みを行っていくのかを教えてください。

以上2点についてよろしくお願いします。

○ 市長 それでは、幹事社の質問に順次お答えをしていきたいと思えます。

まず、「国への施策・予算についての要望活動」についてのご質問からお

答えたいと思います。

まず、今年度は全26の項目を要望書として取りまとめさせていただきました。そして、6月27日と7月4日の日に関係府省庁に対する要望活動を実施いたしました。併せまして6月27日の要望活動の際には、さいたま市の関係国会議員に対する要望説明会も実施いたしました。また、ご質問のあった特に重点的に取り組んでいる項目、「地下鉄7号線の延伸」、「新幹線の大宮駅始発の新設及び大宮駅機能の高度化等」、また「新大宮上尾道路の整備促進」については、私から国土交通省の田中副大臣へ直接要望活動を行わせていただきました。

まず、手応えとか感触ということでございますけれども、田中副大臣からは昨年度設置いたしました「大宮グランドセントラルステーション推進会議」に国土交通省としても引き続き参画をしていき、必要な対応も検討していきたいとお言葉をいただきました。

また、新大宮上尾道路につきましては、今年の3月31日には有料道路事業が決定いたしましたので、しっかりと進めていきたいとの言葉をいただいたところでございます。

さらに、さいたま市関係の国会議員の皆様にも主要な要望項目等についてご説明をさせていただきましたが、大変熱心に聞いていただくとともに貴重なご意見、またアドバイスもいただきました。

今後要望実現に向けまして後押しをしていただけるものと思っております。

また、今後の重点項目に対する展望についてでございますけれども、ご質問のあった各項目について、まず「地下鉄7号線の延伸」につきましては、先日埼玉高速鉄道が2期連続の黒字になったということを発表されておりましたが、浦和美園駅を中心とした沿線開発が進み、利用者が増えたことがその要因の一つであるとしておりました。これは、本市が今進めております「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」の効果の表れであると考えております。

引き続き、定住・交流人口の創出に向けて取り組んでいき、一日も早い事業着手を目指してまいりたいと考えております。

次に、「新幹線の大宮駅始発及び大宮駅機能の高度化」についてござい

ます。「新幹線の大宮駅始発の新設」につきましては、長年にわたり鉄道事業者に対しまして要望してまいりましたが、今年度、夏の増発列車といたしまして、大宮駅始発終着の臨時「はやぶさ」が夏の3連休に運転されることになりました。7月15日土曜日、また9月16日土曜日には始発大宮駅からスタートしまして新青森駅へ行く列車となっております。

また、この3連休最後の7月17日「海の日」、また9月18日「敬老の日」には、新青森駅から終点大宮駅へ走らせることになっております。これらを一つの成果として、今後も国や鉄道事業者へ新幹線大宮駅始発を要望していきたいと思っております。

また、「大宮駅機能の更なる高度化」につきましては、「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」の策定に向けまして、今年度は「大宮グランドセントラルステーション推進会議」を10月と3月の2回開催する予定としております。

さらに、今年4月には「都市再生緊急整備地域」の新規指定地域として、「大宮駅周辺地域」についての申し出を内閣府に対して正式に行ったところでございます。引き続き、構想実現に向けて取り組みを進めていきたいと考えております。

次に、「新大宮上尾道路の整備促進」につきましては、今回の「国の施策・予算に対する要望」、また昨年設立しました「新大宮上尾道路建設促進期成同盟会」の要望の中でも、国に対して事業化区間の早期完成や可能な限り公共負担を軽減していただくこと、また圏央道までの早期事業化を引き続き要望していきたいと考えております。

続きまして、クリテリウムについてのご質問にお答えしたいと思います。コースの特徴といたしましては、フィニッシュライン直前に約300メートルの直線があることから、ゴール前の白熱したスプリントを期待しております。屋外であるということからメインステージはスタート/フィニッシュラインの近くに設置することになります。

昨年まで、前日記者会見や市内交流会をメディア向けのプログラムとして開催しておりましたが、今年は屋外のステージで一般の方にもご観覧いただけるよう、オープンなイベントとしていくことを検討しております。前日記者会見、また交流会はメインレース前日の11月3日に行うことに

なりますが、祝日となるため、多くの方にご来場いただけるよう前日から盛り上げていきたいと考えております。

今年はレース当日、前日のイベントの2日間を通して、多くの方々にご来場いただけるようにウェブやSNSなどを活用した情報発信、またPRイベント等を行いまして、さいたまクリテリウムを知っていただくよう取り組んでいきたいと考えております。

現在さいたまクリテリウム公式ツイッターにおきまして、ツール・ド・フランス本大会開催キャンペーンと銘打ちましてプレゼントキャンペーンも行っております。プレゼントは、2016年の4賞ジャージを獲得した選手の直筆のサイン入りのTシャツでございます。

「2017ツール・ド・フランス」が7月1日に開幕いたしました。今年もフランス本大会の成功と選手の安全祈願のために、千羽鶴をフランスに届ける「鶴・ド・フランス」を実施いたします。現在フランスに職員が出張しております、明日7月7日金曜日、第7ステージのスタート地点のトロワというところで千羽鶴を贈呈してまいります。現地では、鶴を折っていただいた方の選手応援メッセージが入ったさいたまクリテリウムのプロモーション映像も大型ビジョンで放映されることになっております。

ツール・ド・フランス本大会で活躍をした選手が、日本では唯一、さいたま市で見ることができますので、本大会と同様に期待をしていただきたいと思います。

以上です。

- **テレビ埼玉** それでは、代表質問の説明に関して質問のある方はよろしく願いいたします。

幹事社質問①に関する質問

- **読売新聞** 読売新聞と申します。
夏の3連休に臨時で大宮発着のはやぶさを運転することなんですが、こちらの何年ぶりですとか、初めてですとか。
- **事務局** 臨時列車につきましては、5年前の平成24年6月に運行されております。その際は、大宮駅発盛岡駅着という路線が走ったということをJRから伺っております。

その他：さいたま市議会の会期延長について

○テレビ埼玉

ほかご質問よろしいでしょうか。

それでは、そのほか質問がある方は質問のほうをよろしく申し上げます。
テレビ埼玉と申します。

さいたま市議会についてなのですけれども、先月30日最終日で閉会する予定だったかと思うんですけれども、いろいろありまして、今月の10日まで会期が延長されるということになりました。このことについて、ご意見ですとかお聞かせいただけますでしょうか。

○市長

6月30日の本会議において、桶本議長に対する不信任動議と信任動議がそれぞれ提出されまして、信任動議が賛成少数で否決をされました。これは、さいたま市議会史上初めてであると認識をしています。

また、10日まで延びたということについては、私どもとしては、30日に終了と考えておりましたので、議会としての取り組みなのだろうと思っておりますので、特に私からコメントすることについては、差し控えたいと思っております。

その他：東京都議会議員選挙について

○朝日新聞

朝日新聞と申します。

東京都議会議員選挙について伺いたいのですが、先日投開票が行われた都議選では、小池都知事によって都民ファーストの会が非常に躍進して第1党になったのですけれども、都知事と都民ファーストの会の関係については、代表を務めていたということで、二元代表制の観点から批判の声も選挙前からあったんですけれども、3日に小池都知事は代表の座を退きましたが、こうした首長が地元の議会選挙に前面に立ってかかわることについて、清水市長はどうお考えになるかということと、小池都知事の今回代表をおやめになったという行動も含めて、市長、以前埼玉改援隊という地域政党立ち上げられて、市議選で推薦候補を出された経緯もございまして、そのご経験なども踏まえながらご意見を伺えればと思います。

○市長

それでは、ご質問にお答えしたいと思います。

地方自治については、今お話もありましたように二元代表制ということで、首長も直接市民の皆さんから選挙で選ばれて、また議会の市議会議員の皆様も直接市民の皆さんから選ばれて、それぞれ別々の権能を持って、

それぞれがチェック機関であったり、新たな政策的な提案をする役割を持っていたりということですが、その中で首長自身が代表であるグループが、大きな会派を組んで議会に臨んでいくとなると、そのチェック機関としてのそれぞれの二元代表制としての意味など、私自身も、自分自身の経験も踏まえて、問われるところがあると思っておりますので、その中で小池知事が代表を既に辞任されておりますので、都民ファーストの会が、知事のしっかりとしたチェック機関にもなり、また政策を提案し、推進していく役割も果たし、そして議会と執行部が、ある意味ではしっかりとしたそれぞれの権能の果たして建設的な議論がなされる、また議会改革等がなされる、そういった役割を担っていただくことになることを期待しております。

○ 朝日新聞 ちょっと追加で伺いますけれども、とするとやはり選挙期間中に、あれほど前面に小池都知事が出て都議選の応援するというのは、清水市長からごらんになるとやや違和感というか、首をかしげるようなところもありませんでしたのでしょうか。

○ 市 長 私もそれと近いことを数年前やりましたので、小池知事の思いも決してわからなくはないと思っておりますけれども、ただ、地方自治の制度上、都民ファーストの会という議会の中で多数を占める会派、そのグループが一つの会派になって議会運営が行われていくので、その中の代表として小池知事がおられるということについては、やはり違和感が出てくるのだらうと思います。

ただ、もう一方で小池知事の抱えている東京都政の改革を都民ファーストの会の皆さんが、全部丸飲みしていくということではないと思っておりますけれども、セッションしていこうという方向性について共有されていることについては、理解ができないわけではないと思っております。

幹事社質問①に関する質問（地下鉄7号線の延伸・順天堂大学病院の誘致計画について）

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

前後してしまっていて済みません。地下鉄7号線の件なんですけれども、先ほど利用者が増えている傾向だということで、あと黒字も続いているので順調だと思っておりますけれども、差し当たって具体的な利用者を増やしてい

く方策として、差し当たって何か考えていらっしゃる政策とかありますでしょうか。

それと、さらに一步踏み込んで、順天堂大学病院が誘致計画されていると思うんですけれども、あの病院は完成すると、その利用者の増とかにつながると、効果はあるとお考えでしょうか。その2点お伺いしたいんですけれども。

○ 市 長

まず、増やすための取り組みについて、さいたま市は、今43の方策ということで、浦和美園から岩槻駅の地域発展のための成長発展プランをつくって、交流人口と定住人口を増やすための取り組みを進めてきました。その一つが、浦和美園駅周辺について言いますと、区画整理事業をしっかりと進めていくことではありますが、URの部分については基盤整備が終わりましたので、ここに今後戸建ての住宅や、あるいは集合住宅などが建設をされてくると思います。

また、今、市施行の方についても順次進めているところでございますけれども、特にURのところについては全て、保留地等も売却が済んでおりますので、年々定住人口が増えてくると思います。

それから、定住人口については、浦和美園についてはこのような取り組みをしていますし、岩槻駅周辺についても、岩槻駅の西口の区画整理事業を進めてきて、駅の橋上化等も含めまして、かなり基盤整備が進んできているという状況でございます。そういう中で定住人口を増やしていく取り組みが1つと、もう一つは、交流人口を増やすということを数年前からやっております。鷹狩り行列といったイベントや、さまざまな事業を行っていく中で増やしていくという施策と、これまで遅れておりました（仮称）岩槻人形博物館の整備についても、着工していくという段階に入ってきておりますので、それも順次進めていくことで、目標とする人数に近づけていきたいと思っております。

ただ、まだ採算性が課題として指摘をされておりますので、私たちとしてはもう少し定住人口を増やす取り組みや、企業誘致の取り組みを、もう少し行いやすい環境にしていこうと、43の方策についての見直しなどについても今、東部地域・鉄道戦略部等で検討しているところでございます。

2点目について、順天堂病院が来た場合には、埼玉高速鉄道についての

重要性は上がってくると思います。ただ、延伸に対する事業性の評価については、寄与することにはなるとは思いますけれども、特に中間駅と岩槻駅周辺のまちづくりについても、併せてもう少し強化をしていく必要があると思っています。

○ 埼玉新聞 先ほどちょっとおっしゃっていた43の方策は、変えていく可能性があるかと。

○ 市長 そうですね。見直しをしながら増強していくというイメージだろと思っています。

その他：さいたま市議会の会期延長について

○ テレビ埼玉 またちょっと前後してしまうのですが、市議会の件について。先ほどのお話の中で、議会は首長のしっかりとしたチェック機関の役割を果たしているというお話があったと思うんですけど、先月30日のさいたま市議会見てみますと、ある会派、自民党ですけれども、の分裂に端を発した議長人事の混乱で明け方ごろまで議会が続いて、ずっと空転してしまったというような流れになってしまったという状況があるかと思うんですけども、そういった部分についてはどういうふうに感じられますでしょうか。

○ 市長 私たちの提案した議案については、6月30日の段階では全てご議決をいただいたという段階でございますので、その先のことについては、私もからコメントは差し控えたいと思います。

幹事社質問①に関する質問（順天堂大学病院の誘致について）

○ 朝日新聞 先ほど地下鉄7号線のところに関して出た順天堂病院のことで伺いたいんですけども、6月議会でURからの土地取得の契約の議案が可決されました。まだ、もちろん何か協定などを結ばれたわけではありませんが、これから都市計画上の問題等々を含めて、市と順天堂病院さんがお話ししていく場面が増えてくると思うんですが、市長として順天堂病院が緑区というか、あの場所に来た場合に、市内の医療機関としてどのような役割を期待されているか、現時点でもしおありでしたら教えてください。

○ 市長 市内の医療機関との連携が必要であると思っておりますし、通常の市内の医療機関だけでは対応できない部分について、それなりの役割を果たし

ていただければという思いを私たちは持っております。

そのような協力関係が結ばれて、地域医療にも貢献していただけるものになっていただけたということを望んでおり、また要望しております。

○ 朝日新聞 そういう観点でいくと、ある程度高度な医療を行う医療機関というのは既に市内にあるわけですがけれども、さらにできるということで、今のある医療機関にないような役割というものも何か持ってもらえたらというところなんでしょうか。

○ 市 長 既存のものでも、医療も量と質の問題があると思いますけれども、さいたま市あるいは埼玉県全体もそうですけれども、まず量の問題が十分ではないという指摘も多々ございますし、またもう一つの視点で役割分担の問題もあろうかと思えます。そういったことも含めて、地域医療と連携をして地域に貢献していただける機関になっていただくことも私たちとしては期待し、また要望もしております。

幹事社質問②に関する質問

○テレビ埼玉 テレビ埼玉と申します。

クリテリウムの件についてなのですけれども、先ほど前日記者会見の話がちらっと出たかと思うんですけれども、これまでのクリテリウムの前日記者会見というと、本当にメディア向けに、出場選手の皆さん出てきて挨拶するみたいな形だったと思うんですけれども、今年度からは屋外のメインステージで行うということで、これまでの本当に会見というものからは、テイストが全く違ったイベントになるという考え方で大丈夫でしょうか。

○ 市 長 基本的には、たくさんの皆さん、一般の方も見ているということを前提とした内容に少しアップをさせて、工夫をして進めていくことになると思います。

○テレビ埼玉 一般公開するという言い方で大丈夫でしょうか。

○ 市 長 はい。

○テレビ埼玉 そのほかご質問いかがでしょうか。

では、ありがとうございました。以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進 行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回開催は7月20日木曜日、13時30分からを予定してお

りますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

午後2時21分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。